



平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」
学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン



岡山大学ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

Newsletter



はじめまして！岡山大学ダイバーシティ推進本部
男女共同参画室からのお知らせです♪

もくじ

学長ご挨拶	1
理事ご挨拶	1
ニュースレター創刊号発刊によせて	1
男女共同参画への取り組み（平成21年度）	2
岡山大学WTT教員制度をご存じですか	2
男女共同参画への取り組み（平成22年度）	3
平成22年度活動予定	3
男女共同参画室員からのメッセージ	4
編集後記	4

学長ご挨拶



国立大学法人 岡山大学

学長 千葉 喬三

岡山大学は、「学都・岡山大学」として中国・四国地域における中核的な学術拠点となることを目指しています。その実現のためには、優秀な教育・研究人材の確保・育成が大きな課題であり、特に女性研究者、外国人研究者等多様な人材が活躍できる環境を整備することが求められています。

岡山大学では、本年4月にはウーマン・テニュア・トラック(WTT)制による最初の女性助教4名を本学にお迎えしました。次世代の女性研究者のロールモデルになっていただくためにも優れた研究者として活躍してくれることを大いに期待しています。

今後とも、男女共同参画室を中心に、男女共同参画の推進とワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組んでまいりたいので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

理事ご挨拶



国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部

本部長 田中 宏二
(理事・副学長)

岡山大学ダイバーシティ推進本部では、四つの室を中心に、長期的視野で組織の持続的発展を図り、全ての職員の

ワーク・ライフ・バランスの推進を目指して様々な施策を実行しています。特に昨年度から学童保育所、病児・病後児保育施設の設置、保育所の全学施設化など、具体的な施策が急ピッチで進められています。

このような状況の中で、「女性研究者支援モデル育成」事業に採択された「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」は、男女共同参画推進の大きな追い風になると考えております。

本事業の実施を通じて男女共同参画の推進だけでなく、本学でのダイバーシティ文化の醸成と共生社会の実現に努めてまいりたいので、一層のご支援をお願いいたします。

ニュースレター創刊号発刊によせて



国立大学法人 岡山大学
ダイバーシティ推進本部
男女共同参画室

室長 沖 陽子

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室は平成21年1月に開設し、その後、平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」が採択され、私どもの活動に弾みがつきました。

平成21年度は、企画いたしました3本の進化プラン、すなわち「研究体制サポート」を充実させ、「雇用」のチャンスを確保し、「持続性」のある次世代女性研究者の人材育成が保証される「循環型システム」の実質化に向けて、室員一同、走ってまいりました。その成果をニュースレター創刊号にて、皆様方にお知らせできることは、大変、喜ばしいことであり、また皆様方の温かいご支援に感謝いたす次第です。

本室では、次世代を見据えて、女性・男性共に大いなる資質と能力が持続的に開花する環境整備を目指して、これからも活動を進めて参ります。男女共同参画社会構築に向けて、意識改革、意識啓発の一助となるニュースレターを定期的に発行することにより、学内はもとより学外の皆様方とも楽しい輪が広がることを切に希望致しております。ご一緒にニュースレターを育てて頂ければ幸いです。

男女共同参画への取り組み（平成21年度）

メンター研修会を開催しました

平成21年12月7日・8日、メンター養成研修会を行いました。メンターとは、相談者の可能性を最大限に引き出しながら、適宜助言をし、人生相談にも応じられる信頼の置ける相手のことをいいます。



研修会では、メンターの養成を目的として、相談者の知識や経験をいかに引き出すか、相談者との信頼関係はどう構築するのかについて学びました。発問の仕方、ロールプレイ演習等を通して、コミュニケーション能力の向上につながる研修でした。休憩をはさんで8時間にわたる長丁場でしたが、非常に充実した活気あふれる2日間となりました。

平成21年度交流サロン



男女共同参画や女性研究者支援に関する情報交換、意見交換などを目的として、平成21年9月29日に第1回交流サロン、同11月13日に第2回交流サロン、平成22年3月5日に第3回交流サロンを開催しました。講演後お茶をいただきながらのフリートーキングでは、和やかな空気の中、活発な意見や感想が交わされました。

国際シンポジウム開催



平成22年3月6日、岡山国際交流センターレセプションホールにおいて、岡山県・岡山市のご後援の下、「世界は今、そして未来は—男女共同参画とワーク・ライフ・バランス」と題して男女共同参画推進国際シンポジウムを開催しました。

日本の男女共同参画社会の構築は、世界の中でもかなり遅れています。大学等の研究機関も例外ではなく、特に自然科学系の分野においては、意識啓発、並びに雇用促進等を早急に行わなければならない状況にあります。

本シンポジウムでは、川端和明氏(文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課長)、佐藤洋平氏(独立行政法人農業環境技術研究所理事長)並びにタイ、カナダ、韓国出身の研究者をお迎えして、研究者育成施策に関する御助言等頂きました。

岡山大学WTT（ウーマン・テニユア・トラック） 教員制度をご存じですか

岡山大学では、「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」の一環として、若手女性研究者を対象に「ウーマン・テニユア・トラック(WTT)」教員制度を発足させ、平成22年4月1日に第一期WTT教員4名が採用されました。

採用された第一期WTT教員をご紹介します。(五十音順)

【所属】大学院自然科学研究科
機能分子化学専攻
(理学部附属界面科学研究施設)



江口 律子

たくさんの学生さんに囲まれてにぎやかに教育や研究が行える環境が大学の良さだと感じています。研究分野からすると女子学生の少ない分野ではありますが、自らの研究を通して一人でも多くの学生さんが物性研究に興味を持ってもらえたらと思います。周囲の刺激を受けながら様々な経験を経て自分自身も成長していけるように頑張ります。



御興 真穂

【所属】大学院自然科学研究科
バイオサイエンス専攻
(理学部附属牛窓臨海実験所)

出身は大阪ですが、10年以上を首都圏で過ごし、久しぶりに西日本に戻ってきました。岡山には初めて住みますが、瀬戸内海は波も穏やかでよいところです。研究はもちろん、臨海実験所ならではの教育にも貢献していきたいと思っています。

【所属】大学院自然科学研究科
バイオサイエンス専攻
(資源植物科学研究所)



三谷 奈見季

多くの人に支えられ、WTT教員としてスタートをきることができました。このチャンスを活かせるよう、しっかりとした目標を持ち、かつ楽しみながらのびのびと研究を行っていきたくと思っています。そして研究者を目指す女子学生の皆さんに良い刺激が与えられれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



吉岡 美保

【所属】大学院自然科学研究科
バイオサイエンス専攻
(理学部生物学科)

先日、新入生の研修旅行に教員として初めて同行し、記念に「ランタナ」という花をその朝市で買いました。蕾が開くにつれて、花の色が黄色→オレンジ色→赤色と鮮やかに変化していきます。花言葉「協力」そのままに、小さな花が一カ所にたくさん集まって咲くほほえましさ、成長とともにいろんな花色を見せる面白さに魅力を感じました。この場でご挨拶できることに感謝し、私もランタナの花のようにたくさんの方と協力しながら、母校岡山大学の教育と研究に貢献できるよう一生懸命がんばりたいです。

男女共同参画への取り組み（平成22年度）

研究サポート体制



男女共同参画室では、本学の女性研究者に対する支援の一環として、出産・育児等の理由で研究時間の確保が困難な理系の常勤女性教員を対象に、教員の指示の下で研究補助業務（実験補助、研究データ解析、文献調査、統計処理、資料作成等）に従事する研究支援員を配置する研究支援員事業を実施しております。現在、2名の女性教員が制度を利用しており、週20時間の支援を受けています。

研究支援員事業の利用を希望される方は男女共同参画室までお問い合わせ下さい。



キャリアカフェでゆるやかなひととき

平成22年5月26日、女性研究者および大学院生を対象としたキャリアカフェが女性サポート相談室で行われ、参加者からは女性研究者を目指すにあたっての不安や問題などが活発に語られました。所属分野が違うものの、文系や理系の女性研究者への道程には共通した課題が多いことを受けて、小畑相談員より女性研究者支援事業の現状と岡山大学における取り組みが説明されました。参加者の様子からは、厳しい状況を知ったうえで、それを乗り越えていきたいという意気込みを感じました。紅茶とクッキーをいただきながらの短いひとときでしたが、終了後には「初めて会うにも関わらず十分話すことができて良かった」「またぜひ参加したい」などの感想が寄せられました。

女性サポート相談室のご案内

岡山大学に所属する女性（教職員・研究者・学生）を対象に、キャリア確立・仕事と育児の両立・人間関係の悩み等に関する相談窓口として、開設しています。業務の都合で来室できない方のために、メールや電話での相談も受付けていますので、お気軽にご利用ください。

[電話番号] 086-251-7011

[E-mail] support-w@adm.okayama-u.ac.jp

詳細は下記URLをご覧ください。

http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo/soudan_1.html



平成22年度第1回交流サロンを開催しました



平成22年6月4日、岡山大学50周年記念館で「平成22年度第1回交流サロン」を開催しました。

今回は、岡山大学大学院自然科学研究科副研究科長の稲垣賢二教授による「若い世代へ贈る言葉：共働き、子育てを楽しもう！」と題したお話の後に、全員が輪になり、交流サロンを行いました。

交流サロンでは「女性が働きやすい条件とは何か?」「二十代女性の専業主婦願望が高まっているのはなぜか?」等活発な意見が交わされました。国内の話題に加えて、海外事情についても討議され、充実した笑いの絶えない2時間は、あっという間でした。

次回交流サロンのお知らせ

[テーマ] 「育児と仕事の両立～どんな感じ? 何が問題?」

[日時] 平成22年7月30日(金)(16:15~18:15)

[場所] 岡山大学本部棟6階第1会議室

出産・育児は女性が働く上で大きなハードル。教員、職員の方たちがリアルタイムの体験談をお話しされた後、みんなで交流タイムです。ちょっと貴重な体験を、なごやかなサロン形式で一緒にしませんか? みなさんお誘い合わせの上、ふるってご参加ください。



おかやまサイエンス・トークを実施しました



平成22年7月1日、岡山大学と岡山県立岡山一宮高等学校の共催で「第1回おかやまサイエンス・トーク」を岡山一宮高等学校で開催しました。先輩にあたる女性研究者及び大学院生が、現在進めている

最先端の研究内容を高校生にわかりやすく紹介しました。

また、「フリー・トーキング」では、「少しだけ先輩」の演者と身近な問題、将来的問題、人生などについてざっくばらんに話し合いました。

平成22年度活動予定

- ・第2回交流サロン開催（7月30日）
- ・岡山大学オープンキャンパス参加（8月6～7日）
- ・管理職セミナー実施（9月10日）
- ・メンター制度に関するセミナー開催（9月～10月）
- ・シンポジウム開催（12月18日）
- ・おかやまサイエンス・トーク（第2回～）実施
- ・ニュースレター第2号・第3号発行
- ・研究支援員事業利用者募集
- ・メンター養成研修実施
- ・第2期WTT教員募集



オープンキャンパスに参加します!

平成22年8月6日(金)と7日(土)に行われる岡山大学オープンキャンパスに男女共同参画室が参加します。「男女共同参画コーナー」のブースで、岡山県・岡山市と連携して、これからの人生設計に役立つ情報を満載した資料やパネルなどを多数用意してお待ちしています。男女共同参画室員がおりますので、気軽にのぞいてみてください。理系を目指す方には朗報がみつかると思います。また、男女共同参画に関するパネルも多数展示します。詳細は下記URLをご覧ください。

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/prospective/koukai01.html>



男女共同参画室員からのメッセージ



岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室が開設して、はやくも1年半近くの歳月が流れました。今後も室員一同、力を合わせて男女共同参画社会形成へ向けて努力して参ります。



男女共同参画室
副室長
富岡 憲治

昨年度から男女共同参画室の室員を務めています。本学が、教職員・学生にとって男女を問わず生き生きと働き・学ぶ場となるためには、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭に費やす時間のバランス)を始めとして多くの克服すべき問題があります。

それらの問題の解決に向けて努力したいと思っています。

(岡山大学大学院自然科学研究科 教授)



広報・意識啓発推進
部門長
中谷 文美

今年から発足した広報・意識啓発推進部門では、さまざまな媒体を使って情報発信していくとともに、学内外のさまざまな立場の方が集い、意見を交換し合えるような場づくりを心がけていきます。

主な活動の柱としては、①ニュースレターの発行(年3回予定)、②交流サロンの開催、③シンポジウムの企画、があります。そのほか、オープンキャンパスや学園祭でも「進化プラン」の内容や、男女共同参画室の取り組みをご紹介していく予定です。

(岡山大学大学院社会文化科学研究科 教授)



環境整備・支援推進
部門長
五福 明夫

本学の女性教職員のセンス、パワーに圧倒されながらも、男女共同参画に関連する活動を通して、異なる立場からの見方や考え方を吸収して個人的にも成長したいと考えています。

環境整備・支援推進部門では、研究サポート体制の確立とそれによる研究者支援、相談室の運営などの活動を行っており、関連してメンター養成研修の開催や人材登録バンクの充実を図っていきたく考えています。

本学にとっては新しい活動ですので、斬新なアイデアをお待ちしております。

(岡山大学大学院自然科学研究科 教授)



次世代女性研究者
育成推進部門長
坂口 英

昨年12月から、男女共同参画室に加わりました。室会議や交流サロン、シンポジウムへの参加を通じて、女性教員のサポート体制や男性の意識改革などの必要性について痛感しています。農学部では現在女性教員数は1と少ないですが、農学の幅広い学問分野の中で、女性の大学院進学者や研究者数は少なくはないので、安心して利用できるサポート体制が整備されれば、今後農学部での女性教員の増加は大いに期待できるものと考えています。

(岡山大学大学院自然科学研究科 教授)



男女共同参画室
特任教授
本水 昌二

平成21年度採択「学都・岡大発女性研究者が育つ進化プラン」推進の一環として、交流サロン、国際シンポジウム、ウーマン・テニシア・トラック(WTT)制度立ち上げ等、多くの方々のご協力により行うことができました。男女共同参画社会、女性研究者支援の基本理念としては、「ワーク・ライフ・バランス(WLB)」が最重要と考えます。岡大の変貌を期待し、全ての大学構成員で今一度WLBを考えてみましょう。

その他の室員

- 片岡 仁美 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授)
- 根岸 友恵 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授)
- 篠原 陽子 (岡山大学大学院教育学研究科 講師)
- 白髭 明 (岡山大学自然系研究科等事務部総務課長)
- 小西 充 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等事務部総務課長)
- 早川 みどり (岡山大学総務・企画部人事課 主査)
- 藤井 雅美 (男女共同参画室 特任助教)
- 保坂 雅子 (男女共同参画室 特任助教)
- 増田 治美 (男女共同参画室 事務職員)
- 松田 千寿栄 (男女共同参画室 事務職員)
- 門脇 孝弘 (男女共同参画室 技術職員)

編集後記

岡山大学ダイバーシティ推進本部男女共同参画室では、昨年度の国際シンポジウムをはじめとして、岡山県や岡山市と協働し、地域連携の推進に務めています。本事業も2年目をむかえ、さらなる躍進に向けて室員一同、気持ちも新たに邁進していく所存です。今後ともこのニュースレターをよろしくお願いたします。

お知らせ

男女共同参画室では、ロゴマークを全国から募集し、応募のあった13作品の中からロゴマークを決定しました。採用作品を右に示しておりますが、岡山大学の「O」をモチーフに、岡山特産のマスカットをイメージさせて描かれ、未来をみつめる男女を表すと同時に、創造性・革新性・柔軟性をそれぞれ意味する三つの輪をつなぎ合わせることで共生社会が表されています。



お問い合わせ



国立大学法人 岡山大学

ダイバーシティ推進本部 男女共同参画室

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号

TEL & FAX: 086-251-7011

E-mail: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo/